

労働教育事業の進展に要するもの

本邦

大戦以後の一大改革となるべき深夜業の廃止に伴ふ就業時
向の変更より、余暇利用の向は我々の労働者にとりて益々重要
義を有す。

即ち労働者運動の大部分は義務教育の完全な普及に依りて
現存の仍て残るべき教育運動流に成る教育の普及徹底の成否
を得るに在り。我々の資本家、即情的教育の批評は労働者
自身の自発的教育方法をとり、労働組合が余りの教育の原理法
を定むべき状態を求め。しかし乍ら未だ組合の政策的基礎は充
分ならず教育の急出を不可成とす。故に後述に之が要求を述べ

完全なる教育運動の實踐をあげんとすべし

実行方法

一、右の精神にかりて組合及各支部の雇主向つて
活動するべし、